



2013年2月28日に行われた  
アフガニスタンにおける書簡の  
交換式

## 2013年、アフガニスタン・スリランカ・ミャンマーで 日本政府支援による新しいプロジェクトがスタートします！

### \*アフガニスタン：住民参加型の都市開発支援計画

アフガニスタンでは急速な都市化により、居住環境の悪化、大気汚染の深刻化等、様々な問題に直面しています。本事業では、5県5市（カブール市・ヘラート市・マザリシャリフ市・カンダハール市・ジャララバード市）において、市役所の機能強化と道路・排水溝などのインフラ整備を住民参加型で行い、都市部の安定と発展に寄与します。

### \*スリランカ：北部州紛争影響地域における地域社会インフラ施設再建計画

スリランカでは、約26年続いた国内紛争が2009年5月に終結しました。本事業では、紛争による被災が深刻な北部州地域において、帰還民の生活環境を紛争前より良い状態にすることを目指し、道路、公民館などの小規模地域社会インフラ等の整備を行います。また、女性の積極的な参加を促すことで、女性の地位向上に寄与するとともに、若年層や地方行政官にインフラ施設の維持管理能力の研修を実施し、同地域の平和定着に寄与します。

### ミャンマー：少数民族地域におけるコミュニティ開発・復旧計画

国連ハビタットは、多くの国内避難民が発生し、戦闘によるインフラ被災が深刻なカチン州・シャン州、そして、交通アクセス等の理由から国際支援が届きにくく、ミャンマーで最も貧困率の高いチン州において、コミュニティ開発・復旧計画事業を実施します。道路等のコミュニティインフラ復旧や雨水収集タンクの設置等の水と衛生事業を住民参加型によって行い、対象地域の生活環境改善とともに、コミュニティの強化に寄与します。

国連ハビタット福岡本部は、上記事業の進捗等に関して、ウェブサイトで報告していきます。 <http://www.fukuoka.unhabitat.org/>

### 最新のニュース

- ・2013年2月28日にアフガニスタンで、日本政府と「住民参加型の都市開発支援計画」事業に関する書簡を交換しました。
- ・2013年3月6日、スリランカで、日本政府と「北部紛争地域における地域社会インフラ施設再建計画」事業に関する書簡を交換しました。
- ・2013年3月22日、ミャンマーで、日本政府と「少数民族地域におけるコミュニティ開発・復旧計画」事業に関する書簡を交換しました。
- ・2013年4月1日、国連ハビタット・（公財）福岡県国際交流センター合同レクチャーシリーズ第13回ハビタットひろば「カンボジアの水事業」を開催しました。

次回は「スリランカの下水処理施設改善事業」をテーマに開催します。

日時：2013年6月1日（土）

14:00-15:00

会場：アクロス福岡3階  
こくさいひろば



スリランカにおける書簡の交換



ミャンマーにおける書簡の交換

## 福岡を中心とする日本の環境技術がアジアへ



福岡における専門家会議の様子



ラオスにおける水車技術移転事業の様子



<http://www.fukuoka.unhabitat.org/kcap/>

国連ハビタット福岡本部は、2009年より国際環境技術専門家会議を開催し、アジア地域の国や都市が直面する様々な都市課題、なかでも水・衛生・廃棄物・エネルギーなど、環境に関連する分野における問題と現状、そしてその解決のために求められるノウハウやニーズを明らかにすることともに、日本の自治体および企業・NPOなどによる環境分野における先進的な技術や取り組み、また経験を紹介していく取り組みを行っています。また、会議を通じて明らかとなった個別のアジア側のニーズに対し、具体的に課題解決となる技術やノウハウを見出し、実現可能性を調査し、パイロット事業やワークショップ・研修などを実施しています。

### -これまでの事業例-

- \* コヨウ(株) (みやま市) 開発の納豆菌ブロックを活用した水質浄化事業：モンゴルの排水処理池に設置 (2009. 2010. 8)
- \* 循環生活研究所 (福岡 NPO) によるネパール廃棄物研修 (2009. 2010)
- \* (株) ミラクル (東京) の遮熱塗料を活用した公共施設・住宅環境改善 (2011. 3)
- \* 野瀬建設 (久留米市) の水車技術をラオスに移転 (2011. 4、2012. 2)
- \* アサヒクラフト社 (福岡市) およびアクアサービス社 (福岡市) の技術によるスリランカ下水施設改善事業 (2012. 4)

スリランカ下水施設改善事業に関しては、2013年6月1日(土) 14:00-15:00、アクロス3階こくさいひろばで開催するレクチャーシリーズ「ハビタットひろば」で報告を行います。

## いのちの水プロジェクト報告

国連ハビタット福岡本部は、2011年2月末に福岡ハビタット研究会を通じて受理した義捐金6万米ドルにより、ラオスで「メコン川流域の学校を対象とした雨水集水システムによる『安全な水』へのアクセス推進事業」を実施いたしました。



学校に設置された雨水集水タンクと児童たちへの保健衛生ワークショップの様子

雨水集水タンクは、カムムアン県ターケー地区・サワナケット県カイソン地区の5つの小中学校に設置され、合計1,388名の児童と教職員80名に対し、雨水利用による給水が可能となりました。

(注) 雨水は主としてトイレ、手洗いに利用し、飲用の場合は煮沸して利用します。

「いのちの水」プロジェクト募金にご協力いただきました皆様に、心から御礼申し上げます。

Water for Life  
UN-HABITAT  
United Nations Human Settlements Programme

いのちの水  
プロジェクト

ひと、水、笑顔  
はじめよう。

世界では5人に1人が安全な水を飲むことができません。

生活に欠かせない「いのちの水」。  
国連ハビタットは、世界中の人たちが安心して水を飲み、安全に暮らせる「まちづくり」を応援しています。

国連人間居住計画(ハビタット)福岡本部(アジア太平洋担当) <http://www.fukuoka.unhabitat.org>  
国連人間居住計画(ハビタット)福岡本部(アジア太平洋担当)  
〒810-0001 福岡市中央区天神 1-1-1 アクロス福岡 8階  
Tel: 092-724-7121; Fax: 092-724-7124  
Homepage: [www.fukuoka.unhabitat.org](http://www.fukuoka.unhabitat.org)  
E-mail: [habitat.fukuoka@habitat.org](mailto:habitat.fukuoka@habitat.org)